

※日本語版の続単元案において、英語版の単元案を掲載しています。

DP unit planner 3

Teacher(s)		Subject group and course	Group 3 History		
Course part and topic	Prescribed Subject 3: The move to global war.	SL or HL/Year 1 or 2	SL Year 1	Dates	
Unit description and texts		DP assessment(s) for unit			
<p>生徒は第二次世界大戦の背景を調査し、まず日本の拡張政策に焦点を当て、その後、国際的な平和体制を弱体化させようとしたドイツとイタリアの試みに注目します。本単元では、ペーパー1試験および内部評価（IA）の準備に特に重点を置きます。</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1. DP2年次ペーパー1試験の練習 各小単元の最後に小テストを実施し、生徒は史料を分析して自分の意見を説明します。 2. 内部評価（IA）の準備 生徒は、本単元のテーマを研究する歴史家にとっての一次史料および二次史料の価値と限界を分析する練習を行います。これらの演習は、ペーパー1の準備だけでなく、IAのセクションAの準備にも有用です。 			

INQUIRY: establishing purpose of the unit

Transfer goals

List here one to three big, overarching, long-term goals for this unit. Transfer goals are the major goals that ask students to “transfer”, or apply, their knowledge, skills, and concepts at the end of the unit under new/different circumstances, and on their own without scaffolding from the teacher.

IB評価目標1：知識と理解

- a) 歴史的な概念と文脈についての理解を示す。
- b) 歴史的史料についての理解を示す（内部評価およびペーパー1）。

IB評価目標3：総合と評価

- a) 史料を歴史的証拠として評価し、その価値と限界を認識する（内部評価およびペーパー1）。
- b) 関連する多様な史料から得た情報を総合する（内部評価およびペーパー1）。

Essential understandings

List here the key content/skills/concepts that students will know/develop by the end of the unit.

生徒が理解すべき内容

一般的背景

- 1918年のパリ講和会議で締結された協定を理解し、将来の紛争につながる可能性のある条項を予測する。
- 次の戦争を防ぐために行われた試みを探究し、なぜそれらが失敗したのかを分析する。
- 世界恐慌によってもたらされた経済的・社会的変化を検討する。

事例研究1：東アジアにおける日本の拡張（1931–1941年）

- 大正期の「大正デモクラシー」から昭和初期の軍国主義へと、日本の政治と外交政策がどのように移行したのかを分析する。

- 出来事と国際的反応を検討し、当時の各国の対応の違いを比較するとともに、歴史家の解釈の相違を分析する。

事例研究2：ドイツとイタリアの拡張（1933–1940年）

- イタリアとドイツがヴェルサイユ条約後に確立された国際協定を覆そうとした理由を探究する。
- 出来事と反応を学ぶにあたり、歴史資料の価値と限界を評価する。

生徒が身につける技能

- 歴史的証拠を収集・整理する。
- 歴史的証拠の信頼性と有用性を評価する。
- 歴史的プロセスを認識し、それを人間の経験・活動・動機との関連において理解する。
- 歴史的なアイデアや情報を効果的に構成し、表現する。

学生が理解すべき概念

- 変化：第二次世界大戦に至ったとされる人々や出来事に関する正統的理論や仮定に異議を唱える。
- 原因：歴史的証拠と解釈を用いて、第二次世界大戦に寄与した要因とそうでない要因を説明する。
- 意義：第二次世界大戦に至る主要な証拠を評価し、主要な出来事と重要度の低い出来事を区別する。

Missed concepts/misunderstandings

List here likely misunderstandings students may have during the unit with relation to skills, content and concepts.

内容面での誤解

- 生徒は、第二次世界大戦のすべての原因が1929年の世界恐慌に起因すると考え、その結果、1929年以前の平和維持の努力をほとんど見落としてしまう。
- 生徒は、日本、ドイツ、イタリアが第二次世界大戦の全責任を負ったと信じ、そのため日本の軍国主義、ナチス・ドイツ、イタリアのファシズムの台頭に至る深い歴史的背景を無視してしまう。

- 生徒は一つの視点からのみ歴史的解釈を構築し、歴史的出来事に関する多様な観点を軽視してしまう。

技能面での課題

- 生徒は、同じトピックの中で歴史的証拠を収集・評価する練習の機会を複数回逃してしまい、その結果、この技能の発達が制限される可能性がある。
- 生徒は、同じトピックの中で自分の総合や意見を表現する機会を複数回逃してしまい、その結果、この技能を強化する機会を減らしてしまう。

概念面での誤解

- 生徒は、歴史的出来事を説明する原因は一つ、あるいはごく少数しか存在しないと考えてしまう。
- 生徒は歴史的文脈を「正しい」「間違っている」といった主観的な二分法で捉えてしまう。
- 生徒は、過去には唯一の「公式」な物語が存在し、それが他の解釈よりも優れていると考えてしまう。

Inquiry questions

List here the understandings above written in question form, preferably as ones that inspire students to answer them. Feel free to create additional questions that help inspire further inquiry in the unit but may not directly connect to an above essential understanding.

内容に基づく問い

- ヴェルサイユ条約の主な問題点は何であったか。
- 第一次世界大戦後の平和維持の試みはなぜ最終的に失敗したのか。
- 世界恐慌がもたらした主要な経済的・社会的影響は何であったか。
- 満州事変に至る日本の侵略の主な背景要因は何であったか。
- 日本の拡張主義に最も責任を負うのは誰であったか。
- ファシズムとナチズムの特徴は何であったか。
- ミュンヘン会議において、イギリスとフランスはどのように異なる対応をすることができたか。
- 1941年の日米交渉において、アメリカ合衆国はどのように異なる対応をすることができたか。

技能に基づく問い

- この史料を用いてどのような議論を構築することができるか。
- 歴史家の解釈にどの程度同意できるか。
- 質問に対する自分の回答を発展させ、裏付けるためにどのような関連する自身の知識を取り入れることができるか。
- 自分の回答は設問の要求に完全に応えているか。

概念に基づく問い

- 1931年の満州事変は、国際連盟の集団安全保障に対してどの程度重要な打撃であったか。
- 1933年のドイツにおけるナチ党の台頭は、ヨーロッパの国際関係をどの程度変化させたか。
- 世界恐慌が第二次世界大戦勃発の最も重要な要因であったという見解について論ぜよ。
- 日本、ドイツ、イタリアの侵略に対する国際的対応の効果を評価せよ。

ACTION: teaching and learning through inquiry

Essential understanding goals <i>Copy and paste the essential understanding goals from above "Inquiry" section.</i>	Assessment of essential understanding goals <i>Write a 1:1 matching assessment for all goals. Assessments should be labelled formative (F) or summative (S).</i>	Learning process <i>Check the boxes for any pedagogical approaches used during the unit. Aim for a variety of approaches to help facilitate learning.</i>
生徒が理解すべき内容 一般的背景 <ul style="list-style-type: none"> • 生徒は、1919年のパリ講和会議で締結された協定を理解し、将来の紛争につながる可能性のある協定の種類を予測する。 	内容に基づく学習活動 一般的背景 <ul style="list-style-type: none"> • ロールプレイ「ヴェルサイユ条約」（形成的評価） 	<input checked="" type="checkbox"/> Lecture <input checked="" type="checkbox"/> Socratic seminar <input checked="" type="checkbox"/> Small group/pair work

<ul style="list-style-type: none"> 生徒は、次の戦争を防ぐために行われた試みを調査し、それが失敗した理由を分析する。 生徒は、世界恐慌によってもたらされた経済的・社会的変化を検討する。 <p>事例研究1：東アジアにおける日本の拡張（1931–1941年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡張の原因を学ぶことにより、生徒は日本の政治と外交政策が大正期の「大正デモクラシー」から昭和初期の軍国主義へとどのように移行したかを説明できるようになる。 出来事と国際的反応を学ぶことにより、生徒は当時の各国の行動を比較し、現代の歴史家による解釈の違いを分析できるようになる。 <p>事例研究2：ドイツとイタリアの拡張（1933–1940年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡張の原因を学ぶことにより、生徒はイタリアとドイツがヴェルサイユ条約後に確立された国際協定を覆そうとした理由を説明できるようになる。 出来事と国際的反応を学ぶことにより、生徒は歴史資料の限界を評価できるようになる。 <p>生徒が身につける技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒は、歴史的証拠を収集し整理できるようになる。 生徒は、歴史的証拠の信頼性と有用性を評価できるようになる。 生徒は、歴史的プロセスを特定し説明し、それを人間の経験・活動・動機との関連で理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループディスカッション「なぜ平和維持の試みは失敗したのか」（形成的評価） 個人発表「世界恐慌がもたらした経済的・社会的影響」（形成的評価） <p>事例研究1：東アジアにおける日本の拡張（1931–1941年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆記課題「満州事変の主な背景は何であったか」（形成的評価） ロールプレイ「リットン調査団報告をめぐる国際連盟会議」（形成的評価） <p>事例研究2：ドイツとイタリアの拡張（1933–1940年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆記課題「ファシズムとナチズムとは何か」（形成的評価） ロールプレイ「ミュンヘン会談」（形成的評価） <p>技能に基づく学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ロールプレイ（形成的評価）、IA練習（総括的評価） 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> Powerpoint lecture/notes <input checked="" type="checkbox"/> Individual presentations <input checked="" type="checkbox"/> Group presentations <input type="checkbox"/> Student lecture/leading <input checked="" type="checkbox"/> Interdisciplinary learning <p>Details:</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Other/s:
--	--	---

<ul style="list-style-type: none"> 生徒は、歴史的アイデアや情報を効果的に構成し、表現できるようになる。 <p>生徒が理解すべき概念</p> <ul style="list-style-type: none"> 変化：生徒は、第二次世界大戦に至ったとされる人々や出来事に関する正統的な理論や仮定に異議を唱える。 原因：生徒は、歴史的証拠と解釈を用いて、第二次世界大戦の勃発に寄与した要因とそうでない要因を説明する。 意義：生徒は、第二次世界大戦勃発に関連する主要な証拠を評価し、主要な出来事と重要度の低い出来事とを区別する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループディスカッション（形成的評価）、ペーパー1練習（総括的評価） 個人発表（形成的評価）、IA練習（総括的評価） 筆記課題（形成的評価）、IA練習（総括的評価） <p>概念に基づく学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> シミュレーション（形成的評価）、発表（形成的評価）、ディスカッション（形成的評価）、IA練習（総括的評価） シミュレーション（形成的評価）、ディスカッション（形成的評価）、筆記課題（形成的評価）、IA練習（総括的評価） ロールプレイ（形成的評価）、筆記課題（形成的評価）、ペーパー1練習（総括的評価）、IA練習（総括的評価） 	
---	--	--

Resources

ICTを活用した学習リソース（教室および自宅で利用可能）

- 生徒は、本単元の一次史料を調べるためにオンライン・アーカイブにアクセスすることを推奨される。
（例）ドイツのラインラント再軍備に対するイギリスの対応を学ぶための一次史料（英国国立公文書館）
<https://www.nationalarchives.gov.uk/education/resources/german-occupation/>
- 生徒は、本単元に関連する同時代のニュースを視聴するためにオンライン動画にアクセスすることを推奨される。
（例）1938年ミュンヘン協定後のネヴィル・チェンバレン演説
https://www.youtube.com/watch?v=_gGppFLNaio

書籍からの抜粋（学校図書館、学校が契約しているオンラインリソース、自宅で利用可能）

Versailles Treaty: Graebner, N.& Bennett, E. (2014). *The Versailles Treaty and its Legacy: The Failure of the Welsonian Vision*.

Mandates in Pacific: Surhone, L., Tennoe, M. and Henssonow, S. (2011). *South Pacific Mandate*.

Disarmament: Gray, C. (2011). *War, Peace and International Relations: An introduction to strategic history*.

League of Nations: Kluyver, C. and League of Nations Covenant. (2009). *Documents on the League of Nations*. Walters, F. (1986). *A History of the League of Nations*.

The Locarno Treaty: Johnson, G. (2004). *Locarno Revisited: European Diplomacy 1920 – 1929 (Diplomats and Diplomacy)*.

Manchuria: Yamamuro, S., Joshua, F. and Shinichi, Y. (2006). *Manchuria Under Japanese Dominion (Encounters with Asia)*.

German Rearmament: Whaley, B.& Maxim, L. (1984). *Covert German Rearmament, 1919 – 1939: Deception and Misperception*.

Abyssinia: Cohen, G., Flinn, A. and Hogsbjerg, C. (2007). *The Abyssinia Crisis – Seventy Years on*.

Japanese expansionism and US responses: Gordon, A. (2008). *A Modern History of Japan: From Tokugawa Times to Present*.

Chinese Civil War and Sino-Japanese War: Lynch, M. (2019). *Access to History: Mao's China 1936-97*.

Outbreak of the Second World War: Taylor, A. J. P. (2024). *THE WAR LORDS the leaders who changed the course of history (A.J.P. Taylor collection)*.

<p>Approaches to learning (ATL)</p> <p><i>Check the boxes for any explicit approaches to learning connections made during the unit. For more information on ATL, please see the guide.</i></p>	<p>Metacognition</p> <p><i>Check the boxes for any metacognitive approaches used that ask students to reflect on unit content, their own skills, or unit concepts. For more information on the IB's approach to metacognition, please see the guide.</i></p>	<p>Differentiation:</p> <p><i>For more information on the IB's approach to differentiation, please see the guide.</i></p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> Thinking</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Social</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Communication</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Self-management</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Research</p> <p>Details:</p> <p>「世界大戦への歩み」の単元において、生徒は少なくとも3つのロールプレイ活動（ヴェルサイユ条約、国際連盟、ミュンヘン会談）に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ロールプレイ前：生徒は各国の国益を調べることで、自己管理能力とリサーチスキルを育成する。 ● ロールプレイ中：生徒は互いに交渉し、合意を妨げる要因を特定し、妥協点を模索することで、社会的スキルと 	<p><input checked="" type="checkbox"/> Reflection on content</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Reflection on skills</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Reflection on concepts</p> <p>Details:</p> <p>「世界大戦への歩み」の単元において、生徒は日本・ドイツ・イタリアの侵略的政策を検討する中で、「変化」「原因」「意義」という概念を横断的に学習する。本単元を通じて、生徒は自らの知識・技能・概念的理解について繰り返し振り返りを行う。</p> <p>例えば、内容的知識の振り返りとして、学生はヴェルサイユ条約（1929年以前）、国際連盟（日本の事例）、ミュンヘン会談（ドイツ・イタリアの事例）に関するロールプレイ活動に参加する。これらの活動の後、生徒は各事例の共通点や相違点を振り返り、歴史的プロセスや多様な視点への理解を深める。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> Affirm identity—build self-esteem</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Value prior knowledge</p> <p><input type="checkbox"/> Scaffold learning</p> <p><input type="checkbox"/> Extend learning</p> <p>Details:</p> <p>「世界大戦への歩み」の単元は、日本において特に議論を呼ぶテーマであり、この時代の遺産は今日もアジア太平洋地域に大きな影響を及ぼしている。教室では、日本、中国、アメリカ合衆国、ロシア、韓国といった多国籍の生徒がこのテーマについて議論し、それぞれの国の文脈で身につけた既存の知識を振り返る。</p> <p>この過程を通じて、生徒は互いの違いを認め、グローバル市民としての共通のアイデンティティを自覚し、より平和な世界の実現に自らがどのように貢献できるかを考えるようになる。</p>

<p>コミュニケーションスキルを实践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ロールプレイ後：生徒は結果を振り返り、事実の知識を記憶する段階（「何が起こったか」）から、新しい解釈を創り出す段階（「各国が何をすべきだったか」）へと進むことで、思考スキルを発展させる。 		
<p>Language and learning</p> <p><i>Check the boxes for any explicit language and learning connections made during the unit. For more information on the IB's approach to language and learning, please see the guide.</i></p>	<p>TOK connections</p> <p><i>Check the boxes for any explicit TOK connections made during the unit.</i></p>	<p>CAS connections</p> <p><i>Check the boxes for any explicit CAS connections. If you check any of the boxes, provide a brief note in the "details" section explaining how students engaged in CAS for this unit.</i></p>
<p><input checked="" type="checkbox"/>Activating background knowledge <input type="checkbox"/>Scaffolding for new learning <input checked="" type="checkbox"/>Acquisition of new learning through practice <input checked="" type="checkbox"/>Demonstrating proficiency</p> <p>Details: 言語方針との関連 生徒は、非英語の資料を用いてテーマを調査することを推奨される。これにより、自らの背景知識を活性化し、言語間の違いを認識することができる。この実践は、言語的多様性を重視し、生徒の母語および追加言語の使用</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>Personal and shared knowledge <input checked="" type="checkbox"/>Ways of knowing <input checked="" type="checkbox"/>Areas of knowledge <input type="checkbox"/>The knowledge framework</p> <p>Details: この單元において、生徒は関係国の在り方が過去の時代においてどのように異なっていたのか、そして現代の歴史家による解釈がどのように異なるのかを探究する。このテーマの一部は、今日においても日本と近隣諸国との間で政治的・感情的に議論されているため、</p>	<p><input type="checkbox"/>Creativity <input checked="" type="checkbox"/>Activity <input checked="" type="checkbox"/>Service</p> <p>Details: この時代の遺産は、日本およびその近隣諸国に深く根付いている。本単元の学習を通して、生徒は現在も日韓関係などに影響を及ぼしている歴史的遺産について振り返り、次の世代がより良い相互理解を促進するために何</p>

<p>を奨励し、歴史的視点へのより深い関与を促進するという学校の言語方針を支えるものである。</p> <p>国際的視野との関連 生徒は、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、日本語、中国語で書かれたプロパガンダ資料や新聞記事を分析することで、複数の文化的・政治的視点に触れることができる。これは、言語や社会によって物語がどのように異なるかを示すだけでなく、世界史的課題の複雑さを理解する助けともなる。この過程を通じて、生徒は多様な視点を振り返り、異文化理解を深め、より平和な世界に貢献するグローバル市民としての資質を育む。</p>	<p>これらの活動を通して生徒は歴史資料の限界（証拠）を認識し、解釈の多様性（視点）を検討し、知識が文脈やバイアスによってどのように形成されるかを振り返ることができる。</p> <p>その過程において、生徒は独立して考えることを促され、TOKとの有意義なつながりを築くことができる。具体的には次のような問いを考察する：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 歴史的証拠はどの程度信頼できるのか。（証拠） • 文化的または政治的な視点は歴史の解釈にどの程度影響を与えるのか。（視点） • 客観的な歴史的叙述は存在し得るのか。（解釈／バイアス） 	<p>をすべきか、また何ができるのかを考察する。</p> <p>DP1の段階で、生徒は韓国への修学旅行に参加し、韓国の高校生と交流する機会を持つ。この文脈において、生徒はその参加を 活動（Activity） と 奉仕（Service） の両面として捉え、日本と韓国の関係改善に貢献する方法や、より平和な未来の可能性を高める方法を探究するよう促される。</p>
---	---	---

REFLECTION: Considering the planning, process and impact of the inquiry

What worked well	What didn't work well	Notes/changes/suggestions:
<p>生徒は、この単元で学習した歴史的出来事について、複数の視点や解釈が存在し得ることを認識した。</p> <p>生徒は、本単元に関連する歴史資料の価値と限界を分析する技能を発展させた。</p> <p>生徒は、世界大戦がどのように勃発し得るのかを考察することで、概念的理解を深めた。</p>	<p>生徒は、政治的イデオロギーが歴史的出来事や活動に与えた影響を明確にイメージできないことがあった。</p> <p>一部の生徒は、伝統的な解釈が自国のナショナル・アイデンティティと強く結びついていたため、異なる視点を理解するのに苦労した。</p>	<p>歴史教師は、生徒が自分の意見やアイデンティティを安心して表現できるよう、教室の雰囲気やリスクのない環境を整えるべきである。</p> <p>歴史教師は、生徒が風刺画、地図、写真を分析する際に支援となるよう、より多くの足場</p>

	一部の生徒は、政治風刺画が伝えるメッセージを過剰に読み取り、意図された示唆を率直に理解するのが難しかった。	づくり（スキャフォールディング）活動を提 供すべきである。
--	---	----------------------------------

<p>Transfer goals</p> <p><i>List the transfer goals from the beginning of this unit planner.</i></p>
<p>IB評価目標1：知識と理解</p> <p>a) 歴史的な概念と文脈についての理解を示す。 b) 歴史的史料についての理解を示す（内部評価およびペーパー1）。</p> <p>IB評価目標3：総合と評価</p> <p>a) 史料を歴史的証拠として評価し、その価値と限界を認識する（内部評価およびペーパー1）。 b) 関連する多様な史料から得た情報を総合する（内部評価およびペーパー1）。</p>
<p>Transfer reflection</p> <p><i>How successful were the students in achieving the transfer goals by the end of the unit?</i></p>
<ul style="list-style-type: none"> - 生徒は、歴史的な概念および文脈の理解を十分に示した。 - 生徒は、歴史的資料の理解を概ね示したが、風刺画、地図、写真の分析にはさらなる練習が必要である。 - 生徒は、資料の価値と限界を評価する能力を概ね示したが、資料の目的を分析する練習がさらに必要である。 - 生徒は、多様な関連資料から情報を統合することに成功したが、試験において時間を効果的に管理するための練習がさらに必要である。

※以下、英語版の単元案を掲載しています。

DP unit planner 3

Teacher(s)		Subject group and course	Group 3 History		
Course part and topic	Prescribed Subject 3: The move to global war.	SL or HL/Year 1 or 2	SL Year 1	Dates	
Unit description and texts		DP assessment(s) for unit			
<p>Students will examine the background of World War II, focusing first on Japanese expansion and then on German and Italian attempts to undermine the international peace settlement. This unit will place particular emphasis on preparation for the Paper 1 examination and the Internal Assessment (IA).</p>		<p>3. Practice for the Year 2 Paper 1 examination. Quizzes at the end of each subsection, where students will analyze sources and explain their findings.</p> <p>4. Preparation for the Internal Assessment (IA). Students will practice analyzing the values and limitations of primary and secondary sources for historians studying the topics in this unit. These exercises are useful not only for Paper 1 preparation but also for Section A of the IA.</p>			

INQUIRY: establishing purpose of the unit

Transfer goals

List here one to three big, overarching, long-term goals for this unit. Transfer goals are the major goals that ask students to “transfer”, or apply, their knowledge, skills, and concepts at the end of the unit under new/different circumstances, and on their own without scaffolding from the teacher.

IB Assessment Objective 1: Knowledge and Understanding

- a) Demonstrate an understanding of historical concepts and contexts.
- b) Demonstrate an understanding of historical sources (Internal Assessment and Paper 1).

IB Assessment Objective 3: Synthesis and Evaluation

- a) Evaluate sources as historical evidence, recognizing their values and limitations (Internal Assessment and Paper 1).
- b) Synthesize information from a range of relevant sources (Internal Assessment and Paper 1).

Essential understandings

List here the key content/skills/concepts that students will know/develop by the end of the unit.

Students will know the following content:

General Background

- Understand the agreements made at the Paris Peace Conference (1918) and predict which provisions might lead to future conflicts.
- Explore the attempts made to prevent another war and analyze why these attempts failed.
- Examine the economic and social changes brought about by the Great Depression.

Case Study 1: Japanese Expansion in East Asia (1931–1941)

- Analyze how Japanese politics and foreign policy shifted from the “Taisho democracy” of the Taisho period to the militarism of the early Showa period.

- Examine events and international responses, comparing how contemporary countries differed at the time and how historians' interpretations vary.

Case Study 2: German and Italian Expansion (1933–1940)

- Explore the reasons why Italy and Germany sought to overturn international agreements established after the Treaty of Versailles.
- Assess the values and limitations of historical sources for the study of events and responses.

Students will develop the following skills:

- Gather and organize historical evidence.
- Evaluate the reliability and usefulness of historical evidence.
- Recognize and understand historical processes and their relationship to human experience, activity, and motivation.
- Organize and express historical ideas and information effectively.

Students will grasp the following concepts:

- **Change:** Challenge orthodox theories and assumptions about the people and events said to have led to World War II.
- **Causation:** Explain, using evidence and interpretations, which causes contributed to World War II and which did not.
- **Significance:** Assess the main evidence leading to World War II, distinguishing between key events and those of lesser importance.

Missed concepts/misunderstandings

List here likely misunderstandings students may have during the unit with relation to skills, content and concepts.

Content-based misconceptions

- Students assume that every cause of World War II originated with the Great Depression of 1929; as a result, they overlook most peace-making efforts before 1929.
- Students believe that Japan, Germany, and Italy bore all responsibility for World War II; therefore, they ignore the deeper historical background behind the rise of Japanese militarism, Nazi Germany, and Fascist Italy.
- Students construct historical interpretations from only one perspective, neglecting the variety of different viewpoints on historical events.

Skills-based challenges

- Students may miss multiple opportunities to practice gathering and evaluating historical evidence within the same topic, limiting their development of these skills.
- Students may miss multiple opportunities to express their synthesis or opinions within the same topic, reducing their chances to strengthen these skills.

Concept-based misconceptions

- Students believe that only one or a very small number of causes explain a historical event.
- Students view historical contexts in subjective terms of “right” and “wrong.”
- Students believe there is a single “official” narrative of the past that is superior to other interpretations.

Inquiry questions

List here the understandings above written in question form, preferably as ones that inspire students to answer them. Feel free to create additional questions that help inspire further inquiry in the unit but may not directly connect to an above essential understanding.

Content-based:

- What were the main problems of the Versailles Treaty?
- Why did peace-making efforts after World War I ultimately fail?
- What were the key economic and social impacts of the Great Depression?
- What were the main background factors behind Japan’s invasion of Manchuria?
- Who was the most responsible of Japanese expansionism?
- What were the defining features of Fascism and Nazism?
- How could the United Kingdom and France have responded differently at the Munich Conference?
- How could the United States have responded differently at the US-Japan negotiation in 1941?

Skills-based:

- What arguments can I construct by using this source?
- To what extent do I agree with the interpretation of the historian?
- What relevant own knowledge can I incorporate to develop and support my response to the question?
- Does my response fully address the demands of the question?

Concept-based:

- To what extent was the Japanese invasion of Manchuria in 1931 a significant blow to the collective security of the League of Nations?
- To what extent did the rise of the Nazi Party in Germany in 1933 alter international relations in Europe?
- Discuss the view that the Great Depression was the most important factor leading to the outbreak of the Second World War.
- Evaluate the effectiveness of international responses to Japanese, German, and Italian aggression.

ACTION: teaching and learning through inquiry

<p>Essential understanding goals</p> <p><i>Copy and paste the essential understanding goals from above “Inquiry” section.</i></p>	<p>Assessment of essential understanding goals</p> <p><i>Write a 1:1 matching assessment for all goals. Assessments should be labelled formative (F) or summative (S).</i></p>	<p>Learning process</p> <p><i>Check the boxes for any pedagogical approaches used during the unit. Aim for a variety of approaches to help facilitate learning.</i></p>
<p><u>Students will know the following content:</u></p> <p>General background</p> <ul style="list-style-type: none"> - Students will understand the agreements made at the Paris Peace Conference in 1919 and predict which types of agreements might lead to future conflicts. - Students will investigate the attempts made to prevent another war and analyze the reasons for their failure. - Students will examine the economic and social changes brought about by the Great Depression. <p>Case Study 1: Japanese expansion in East Asia (1931 – 1941)</p> <ul style="list-style-type: none"> - By studying the causes of expansion, students will be able to explain how Japanese politics and foreign policy shifted from the “Taisho democracy” of the Taisho period to the militarism of the early Showa period. 	<p><u>Content-based:</u></p> <p>General background</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Role play “Versailles Treaty” (F) 2. Group discussion “Why did the attempts of peace-making fail?” (F) 3. Individual presentation “What kind of economic and social impacts did the Great Depression bring about?” (F) <p>Case Study 1: Japanese expansion in East Asia (1931 – 1941)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>Lecture <input checked="" type="checkbox"/>Socratic seminar <input checked="" type="checkbox"/>Small group/pair work <input checked="" type="checkbox"/>Powerpoint lecture/notes <input checked="" type="checkbox"/>Individual presentations <input checked="" type="checkbox"/>Group presentations <input type="checkbox"/>Student lecture/leading <input checked="" type="checkbox"/>Interdisciplinary learning <p>Details:</p>

<ul style="list-style-type: none"> - By studying events and international responses, students will be able to compare how different countries acted at the time and analyze how interpretations by contemporary historians differ. <p>Case Study 2: German and Italian expansion (1933 – 1940)</p> <ul style="list-style-type: none"> - By studying the causes of expansion, students will be able to explain why Italy and Germany sought to undermine international agreements established after the Versailles Treaty. - By studying events and responses, students will be able to assess the limitations of historical sources. <p><u>Students will develop the following skills:</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Students will be able to gather and organize historical evidence. - Students will be able to evaluate the reliability and usefulness of historical evidence. - Students will be able to identify and explain historical processes and their relationship to human experience, activity, and motivation. - Students will be able to structure and communicate historical ideas and information effectively <p><u>Students will grasp the following concepts:</u></p> <p>Change: Students will challenge orthodox theories and assumptions about the people and events said to have led to the Second World War.</p> <p>Causation: Students will explain, using historical evidence and interpretations, which factors contributed to the outbreak of the Second World War and which did not.</p> <p>Significance: Students will assess the main evidence related to the outbreak of the Second World War, distinguishing between key events and those of lesser importance</p>	<p>4. Written assignment “What was the main background of the Japanese invasion of Manchuria?” (F)</p> <p>5. Role play “The conference of the League of Nations about the Lytton report” (F)</p> <p>Case Study 2: German and Italian expansion (1933 – 1940)</p> <p>6. Written assignment “What were Fascism and Nazism?” (F)</p> <p>7. Role play “The Munich Conference” (F)</p> <p><u>Skills-based:</u></p> <p>8. Role play (F), IA practice (S)</p> <p>9. Group Discussion (F), Paper 1 practice (S)</p> <p>10. Individual presentation (F), IA practice (S)</p> <p>11. Written assignment (F), IA practice (S)</p> <p><u>Concept-based:</u></p> <p>12. Simulation (F), presentation (F), discussion (F), IA practice (S)</p>	<p><input type="checkbox"/>Other/s:</p>
--	---	---

	<p>13. Simulation (F), discussion (F), written assignment (F), IA practice (S)</p> <p>14. Role play (F), written assignment (F), paper 1 practice (S), IA practice (S)</p>	
--	--	--

Resources
<p>Resources using ICT (available in the classroom and students' home)</p> <ul style="list-style-type: none"> - Students are encouraged to access online archives in order to consult primary sources for this unit. (e.g.) Primary sources for studying British responses to German remilitarization of Rhineland (UK National Archive) https://www.nationalarchives.gov.uk/education/resources/german-occupation/ - Students are encouraged to access online videos to view contemporary news related to this unit. (e.g.) Neville Chamberlain's speech after Munich Agreement in 1938. https://www.youtube.com/watch?v=_gGppFLNaio <p>Excerpts from books (available at school library, online resources subscribed by the school, and students' home)</p> <p>Versailles Treaty: Graebner, N.& Bennett, E. (2014). <i>The Versailles Treaty and its Legacy: The Failure of the Welsonian Vision</i>.</p> <p>Mandates in Pacific: Surhone, L., Tennoe, M. and Henssonow, S. (2011). <i>South Pacific Mandate</i>.</p> <p>Disarmament: Gray, C. (2011). <i>War, Peace and International Relations: An introduction to strategic history</i>.</p> <p>League of Nations: Kluver, C. and League of Nations Covenant. (2009). <i>Documents on the League of Nations</i>. Walters, F. (1986). <i>A History of the League of Nations</i>.</p> <p>The Locarno Treaty: Johnson, G. (2004). <i>Locarno Revisited: European Diplomacy 1920 – 1929 (Diplomats and Diplomacy)</i>.</p>

Manchuria: Yamamuro, S., Joshua, F. and Shinichi, Y. (2006). *Manchuria Under Japanese Dominion (Encounters with Asia)*.

German Rearmament: Whaley, B. & Maxim, L. (1984). *Covert German Rearmament, 1919 – 1939: Deception and Misperception*.

Abyssinia: Cohen, G., Flinn, A. and Hogsbjerg, C. (2007). *The Abyssinia Crisis – Seventy Years on*.

Japanese expansionism and US responses: Gordon, A. (2008). *A Modern History of Japan: From Tokugawa Times to Present*.

Chinese Civil War and Sino-Japanese War: Lynch, M. (2019). *Access to History: Mao's China 1936-97*.

Outbreak of the Second World War: Taylor, A. J. P. (2024). *THE WAR LORDS the leaders who changed the course of history (A.J.P. Taylor collection)*.

<p>Approaches to learning (ATL)</p> <p><i>Check the boxes for any explicit approaches to learning connections made during the unit. For more information on ATL, please see the guide.</i></p>	<p>Metacognition</p> <p><i>Check the boxes for any metacognitive approaches used that ask students to reflect on unit content, their own skills, or unit concepts. For more information on the IB's approach to metacognition, please see the guide.</i></p>	<p>Differentiation:</p> <p><i>For more information on the IB's approach to differentiation, please see the guide.</i></p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> Thinking</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Social</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Communication</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Self-management</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Research</p> <p>Details:</p> <p>In the topic <i>The Move to Global War</i>, students will participate in at least three role-play</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> Reflection on content</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Reflection on skills</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Reflection on concepts</p> <p>Details:</p> <p>In the topic <i>The Move to Global War</i>, students' learning will overlap across the concepts of change, causation, and significance as they examine the aggressive policies of Japan, Germany, and Italy.</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> Affirm identity—build self-esteem</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Value prior knowledge</p> <p><input type="checkbox"/> Scaffold learning</p> <p><input type="checkbox"/> Extend learning</p> <p>Details:</p> <p>The topic <i>The Move to Global War</i> is especially controversial in Japan, as the legacy of this period remains significant in the Asia–Pacific region. In the classroom,</p>

<p>activities (the Treaty of Versailles, the League of Nations, and the Munich Conference).</p> <p>Before the role-play: Students will research each country’s national interests, thereby developing self-management and research skills.</p> <p>During the role-play: Students will negotiate with one another to identify the obstacles to agreement and consider possible compromises, thereby practicing social and communication skills.</p> <p>After the role-play: Students will reflect on the outcomes, developing their thinking skills as they progress from remembering factual knowledge (“what happened”) to creating new interpretations (“what countries could have done”).</p>	<p>Throughout this unit, students will engage in repeated reflection on their knowledge, skills, and conceptual understanding.</p> <p>For example, in reflecting on content knowledge, students will participate in role-play activities focused on the Versailles Treaty (before 1929), the League of Nations (Japanese case), and the Munich Conference (Germany–Italy case). After these activities, students will reflect on the similarities and differences among these cases, deepening their understanding of historical processes and perspectives.</p>	<p>multinational students from countries such as Japan, China, the United States, Russia, and Korea will discuss the topic and reflect on the prior knowledge they have acquired in their own national contexts.</p> <p>Through this process, students will acknowledge their differences, recognize their shared identity as global citizens, and consider how they can contribute to creating a more peaceful world.</p>
<p>Language and learning</p> <p><i>Check the boxes for any explicit language and learning connections made during the unit. For more information on the IB’s approach to language and learning, please see the guide.</i></p>	<p>TOK connections</p> <p><i>Check the boxes for any explicit TOK connections made during the unit.</i></p>	<p>CAS connections</p> <p><i>Check the boxes for any explicit CAS connections. If you check any of the boxes, provide a brief note in the “details” section explaining how students engaged in CAS for this unit.</i></p>

<p><input checked="" type="checkbox"/> Activating background knowledge <input type="checkbox"/> Scaffolding for new learning <input checked="" type="checkbox"/> Acquisition of new learning through practice <input checked="" type="checkbox"/> Demonstrating proficiency</p> <p>Details:</p> <p>Language Policy Connection Students will be encouraged to research the topic using non-English sources to activate their background knowledge and to recognize differences between languages. This practice supports the school's language policy by valuing linguistic diversity, encouraging the use of students' home and additional languages, and fostering deeper engagement with historical perspectives.</p> <p>International-mindedness Connection By analyzing propaganda materials and news articles in German, Italian, Russian, Japanese, and Chinese, students will be exposed to multiple cultural and political viewpoints. This not only highlights how narratives differ across languages and societies, but also helps students appreciate the complexity of global historical issues. Through this process, students will reflect on diverse perspectives, strengthen their intercultural understanding, and develop the mindset of global citizens committed to a more peaceful world.</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> Personal and shared knowledge <input checked="" type="checkbox"/> Ways of knowing <input checked="" type="checkbox"/> Areas of knowledge <input type="checkbox"/> The knowledge framework</p> <p>Details:</p> <p>In this topic, students will explore how aspects of the countries involved differed in earlier eras and how contemporary historians' interpretations vary. Since parts of this topic are still discussed politically and emotionally between Japan and its neighboring countries, these activities will help students recognize the limitations of historical sources (evidence), examine the diversity of interpretations (perspectives), and reflect on how knowledge is shaped by context and bias. In doing so, students will be encouraged to think independently and make meaningful connections with TOK by considering questions such as:</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>How reliable is historical evidence? (Evidence)</i> • <i>To what extent do cultural or political perspectives influence interpretations of history? (Perspectives)</i> • <i>Can there ever be an objective historical account? (Interpretation / Bias)</i> 	<p><input type="checkbox"/> Creativity <input checked="" type="checkbox"/> Activity <input checked="" type="checkbox"/> Service</p> <p>Details:</p> <p>The legacies of this period remain deeply embedded in Japan and its neighboring countries. Through studying this topic, students will reflect on the historical legacies that continue to shape relations between Japan and its neighbors, and consider what the next generation can and should do to foster greater reciprocity.</p> <p>In DP Year 1, students will travel to Korea on a school trip and have the opportunity to interact with Korean high school students. In this context, they will be encouraged to view their participation as both activity and service, exploring ways to contribute to improved relations between Japan and Korea and to promote the prospects of a more peaceful future.</p>
---	---	---

REFLECTION: Considering the planning, process and impact of the inquiry

What worked well	What didn't work well	Notes/changes/suggestions:
<p>Students have recognized that multiple perspectives and interpretations can exist regarding the historical events studied in this topic.</p> <p>Students have developed their skills in analyzing the values and limitations of historical sources relevant to the unit.</p> <p>Students have deepened their conceptual understanding by considering how a global war can emerge.</p>	<p>Students were not always able to clearly imagine the influence of political ideology on historical events and activities.</p> <p>Some students struggled to understand different perspectives, as certain traditional interpretations were strongly tied to their national identities.</p> <p>Some students overinterpreted the messages conveyed in political cartoons and had difficulty grasping the intended suggestions in a straightforward way.</p>	<p>The history teacher should ensure that the classroom atmosphere is a risk-free environment where students feel comfortable expressing their own opinions and identities.</p> <p>The history teacher should provide more scaffolding activities to support students when analyzing cartoons, maps, and photographs.</p>

Transfer goals

List the transfer goals from the beginning of this unit planner.

IB Assessment Objective 1: Knowledge and Understanding

- a) Demonstrate an understanding of historical concepts and contexts.
- b) Demonstrate an understanding of historical sources (Internal Assessment and Paper 1).

IB Assessment Objective 3: Synthesis and Evaluation

- a) Evaluate sources as historical evidence, recognizing their values and limitations (Internal Assessment and Paper 1).
- b) Synthesize information from a range of relevant sources (Internal Assessment and Paper 1).

Transfer reflection

How successful were the students in achieving the transfer goals by the end of the unit?

- Students successfully demonstrated an understanding of historical concepts and contexts.
- Students generally demonstrated an understanding of historical sources; however, additional practice is needed in analyzing cartoons, maps, and photographs.
- Students largely demonstrated the ability to evaluate the values and limitations of sources; however, further practice is required in analyzing the purpose of sources.
- Students successfully synthesized information from a range of relevant sources; however, more practice is needed in managing time effectively during examinations.